

われらTANTOジュニアレポーター (きょう土のはってんにつくした人々)

男子 22名 女子 14名
計 36名

1 単元のデザイン

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領社会における第4学年の内容(4)「イ(イ)当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。」を指導するために設定されたものである。
- 自分たちが暮らす安浦の土地が、より良い暮らしを目指す先人の苦心と努力と協力によって形成されたことを理解することで、地域を知り、地域への愛着を強くするであろう。地域教材であることから、フィールドワークも容易になる。図や文章などの資料とともに、体感を伴った思考力・判断力・表現力を育成することができる。

児童の実態

- 本学級の児童は、これまで、「飲用水」の供給や「ごみ」の処理の学習で、課題解決のための校内や地域を調べる活動を行ってきた。調べる活動が好きという児童は、72%であった。
- 自由な発想の予想場面や自分の体験を基にした発言では、さまざまな意見を出すことができる。根拠を示しながら、分かり易く自分の考えを説明することができる児童は、増えつつある。
- 生活科や総合的な学習の時間、3年生の社会科の学習で地域を取り上げた学習をし、「ふるさと安浦」に愛着をもって見ている児童は多い。しかし、土地の成り立ちにまで関心をよせている児童はいないと思われる。

パフォーマンス課題について

- 児童は、これまで地域のさまざまな行事に参加し、3年時の総合的な学習の時間でゲストティーチャーを招いて地域の素晴らしさを学習してきた。そのいずれの中心にも、地域のにぎわいづくりや歴史を残す活動をしている安浦まちづくり協議会の方がいる。児童にとっては、とても頼りになる、地域の先生といえる。ここでは、自分がその一員となるという設定にすることで、単元への意欲付けにするとともに、安浦まちづくり協議会の広報紙「TANTO」に記事を書くというゴールを示すことで、調べる目的や多くの人に知ってもらおうという相手意識を明確にして学習に取り組むことができる。また、広報紙に分かりやすく記事を書くことで、確かな事実の理解と当時の人々の工夫や努力に迫る思考力・判断力・表現力が育成されると考える。

思考を深める指導のポイント

- 取り扱う年代が古く、4年生児童に時代背景を理解させることは難しい。しかし、背景の一定の理解がないと当時の人々の思いに迫ることができない。そこで、絵本や読み物資料、絵図、写真などの資料を、比較したり、関連付けたりして思考を深めるようにする。また、新聞築調の年表を自ら作ることで、年表の理解を深めるとともに、新聞が徐々に造られていったことを実感させていき、それによって人々の新聞にかける思いに迫らせたい。

2 単元の目標

- ・地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。【知識及び技能】
- ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。【知識及び技能】
- ・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。【思考力、判断力、表現力等】
- ・先人の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを生活に生かそうとしたりしている。【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 ②見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。	①当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。	①先人の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

4 単元計画（全14時間）

次	時	学習内容	評価規準（評価方法）			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
一	1	課題の設定 2つの時期を比較した田畑の面積図から、土地が広がったことに気づき、土地の高い所や海に田畑を広げる方法を予想する。				
	2			○思①（行動観察）		
二	3	情報の収集 土地の高い所に田を広げる方法や当時の時代背景について調べる。 関連付ける	◎知①（ノート分析）			
	4			○思①（行動観察、ワークシート）		
	5		◎知②（ノート分析）			
	6		○知②（ノート分析）			
	7			◎思①（行動観察、ワークシート）		
	8 （本時）			◎思①（行動観察、ワークシート）		
	9		整理・分析 田や畑が広がって人々のくらしはどのように変わったのかを話し合う。		◎思①（ノート分析）	
	10			○知①（ノート分析）		

三	11 ・ 12	まとめ・創造・表現	パフォーマンス課題に取り組む。 ・自分の書きたいテーマと内容を設定する。 ・計画を立て分かったことを整理する。 ・構成を考えて記事を書き、広報紙にまとめる。	○知①（パフォーマンス課題）	◎思①（パフォーマンス課題）	◎態①（行動観察）
	13	実行	・まちづくり協議会の方に見ていただいてアドバイスを受ける。		◎思①（パフォーマンス課題）	◎態①（行動観察）
	14	振り返り	学習を振り返り、評価する。ペーパーテストに取り組む。	◎知①②（ペーパーテスト）		

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「○」を、その中で特に学級全員の児童の学習状況について総括の資料にするために記録に残す評価を行う機会には「◎」を付けている。

5 本時の学習（本時8／14）

（1）本時の目標

これまでに学習してきたことを互いに関連付けて考え、安浦の人々が沖へ沖へと徐々に新開を造っていったのは、厳しい税に対応して田畑を増やして米を多く作り、少しでも豊かな暮らしをしたいという思いだったことを考えることができる。【思考・判断・表現】

（2）学習の流れ

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 本時の学習とパフォーマンス課題の繋がりを確認する。 2 新開が順々に沖へ沖へと造られていることを確認する。 3 めあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンス課題とのつながりを確認して、記事づくりの見通しをもたせる。 自分でつくった年表や資料を見て土地が広がったことを実感させる。 なぜ、次々と土地を造ったのかという課題をもつ。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 当時の安浦の人々は、200年の間に、どんな思いで少しずつ土地を広げていったのかを考えて、説明しよう。 </div>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学び合い①自分の考えをもつ 学び合い②関連付けながら思考する </div>		
考える	4 安浦の人々が、どんな思いで土地を広げていったかを既習事項と関連付けて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">関連付ける</div> ○安浦の人は、どんな思いで沖へ沖へと順々に新開を造っていったのでしょうか。習ったことと関連付けて考えましょう。 <ul style="list-style-type: none"> 米などの税をはらわなければいけないと思った。 井手と同じように、少しでも土地を広げ、田を増やしてたくさんの米などを作ろうとした。 厳しい税だから少しでも楽になりたいと思った。 厳しい生活だから今より楽な生活に変えたい。 造っても造っても、その分税が高くなって行って土地を広げようと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 当時の人々の置かれた状況やそこから生まれる願い、井手を造った人々の願いや井手や新開を造る際の工夫や努力と関連付けて考える。 自分の考えをノートに書く。 ノートを見せ合いながらペアで交流する。 	これまでに学習した厳しい税の取り立てに苦しむ人々の思いやより良い暮らしを求める人々の願いと関連付けて新開を増やしていった理由を考えている。 【思・判・表】 （ノート分析、発言）


深める	学び合い③考えを広げたり深めたりする	
	5 話し合ったことを全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで交流した後に自分の考えを修正する時間をとる。 ・ノートを写真に撮ってロイロノートに送らせ、それを見ながら発表できるようにする。
振り返る	6 本時のまとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>当時の安浦の人々は、高い税を取られて、きびしい暮らしをしていたので、田を増やして米をたくさん作り、少しでも楽な暮らしに変えていくために、協力して海に新開を造ろうとした。</p> </div>
	7 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、パフォーマンス課題と関連付けて、あと何が分かれば記事ができるかを振り返りに書かせる。

6 板書計画

われらTANTOジュニアレポーター

④ 当時の安浦の人々は、200年の間に、どんな思いで少しずつ土地を広げていったのかを考えて、説明しよう。

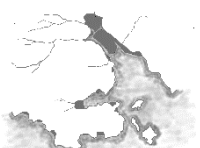
400年前の安浦



200年

→

200年前の安浦



少しずつ順々に広げられてきた

このころは、米を税としてきびしく取り立てられて苦しい暮らしをしていた。日照りにもなやまされていた。

土地の高い所は、井手をほって田を広げた。高い所にため池をほって雨水をためて水をながした。

リーダーを中心に、村人が協力して井手を作った。
弥四郎塚

新開は干拓で造られている。潮のみちひきや天気なきにしながら村人が協力して造った。

くらし

- ・税に苦しむ。
- ・日照りや水不足に苦しむ。

つくるために必要なこと

- ・干がた
- ・村人の協力
- ・つくる技じゅつ
- ・リーダー

願い

- ・少しでも楽になりたい。
- ・苦しまないでいようになりたい。
- ・たくさん米をつくりたい。

関連付ける

- ・税をはらわなければいけなかったから。
- ・田をふやしてたくさん米を作ろうとした。
- ・少しでも楽になりたかったから。
- ・今より楽な生活に変えたい。
- ・造っても造っても税が高くなって。土地を広げたい。

⑤ 当時の安浦の人々は、高い税を取られて、きびしい暮らしをしていたので、田を増やして米をたくさん作り、少しでも楽な暮らしに変えていくために協力して海に新開を造ろうとした。